【基本情報】

教　　科	地歴公民科	学　年	２年後期 ～ ３年	教科書	詳説　日本史Ｂ（山川出版社）
科　　目	日本史Ｂ	単位数 (年間予定コマ数)	２ (64)	副教材	図説　日本史通覧（帝国書院） 要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）
科目概要	１　古代・中世における我が国の歴史の展開について、政治や経済、社会、文化、国際環境など各時代の特色及びその変遷に関わる総合的な考察について取り上げていく。 ２　学習を通して歴史的思考力を育成し、我が国の伝統と文化についての認識を深めていくとともに、国際社会の中で生きていく思考力・判断力・理解力を養っていく。				
到達目標	１　古代・中世における歴史の流れを理解できる。 ２　古代・中世における日本を取り巻く国際情勢を考察できる。 ３　古代・中世における日本史に関わる地図・資料を読み取ることができる。				
授業の進め方	１　基本的に、教科書、資料集、プリント等を使いながら重要事項の説明及び板書を中心に講義形式の授業を行う。 ２　質問及び歴史に関わる教材の提供を通して、興味や関心を深めていく。 ３　学んだことや考えたことを表現する場を設ける。				
留意事項	１　授業に必要な教材（教科書、資料集、プリントを綴じるファイル等）は忘れずに毎時間準備する。 ２　積極的に授業に参加する。 ３　提出物は丁寧に仕上げ、提出期限を守る。				
家庭学習	１　教科書を読み進める家庭学習を推奨する。 ２　参考書、問題集等を復習用として活用していくことを薦める。				
備　　考					

【評価の方法】

観　　点	ポイント	割　合	評価項目
Ａ．関心・意欲・態度	・歴史の展開に対する関心と、課題意識を高め、意欲的に追求しようとしているか。	１０％	・授業中の発表、ワークシート・資料プリントの活用状況を随時点検し、評価する。
Ｂ．思考・判断・表現	・日本の文化と伝統の特色について認識を深めつつ、国際社会の変化を世界史的視野にたって公正に考察できるか。	１０％	・授業態度の観察および定期考査において、思考・判断・表現に関する出題をし、評価する。
Ｃ．資料活用の技能	・資料・情報を収集活用し、歴史的事象を追求する方法を身につけられるか。	１０％	・授業で活用した様々な資料の読み取りや解釈について、適切にできているかを定期考査において出題し、評価する。
Ｄ．知識・理解	・基本的な事柄を、世界史的視野にたって総合的に理解し、その知識を身につけているか。	７０％	・定期考査において、授業で学習した基礎・基本事項の理解度を評価する。

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
第Ⅰ部　原始・古代 第１章　日本文化のあけぼの	２０	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権	○ ○ ○			○ ○ ○	・創生期からヤマト政権成立期までの歴史の流れを理解できる。 ・ヤマト政権成立期までの日本を取り巻く国際情勢を考察できる。 ・創生期からヤマト政権成立期までの日本史に関わる地図・資料を読み取ることができる。
第２章　律令国家の形成	２４	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安王朝の形成	○ ○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○	・朝廷成立期から平安時代初期にかけての歴史の流れを理解できる。 ・朝廷成立期から平安時代初期にかけての日本を取り巻く国際情勢を考察できる。 ・朝廷成立期から平安時代初期までの日本史に関わる地図・資料を読み取ることができる。
第３章　貴族政治と国風文化	２０	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○	・平安時代中期から武士の台頭期にかけての歴史の流れを理解できる。 ・平安時代中期から武士の台頭期にかけての日本を取り巻く国際情勢を考察できる。 ・平安時代中期から武士の台頭期までの日本史に関わる地図・資料を読み取ることができる。